

千代田・梁井野ふれあいセンターが開館します……2
地域の安全安心を支える消防団……3
改修工事による固定資産税の減額について……4
佐倉市職員採用試験……5
佐倉市民花火大会……8

子どもの笑顔をつなぐ

～佐倉市の青少年健全育成～

子どもたちの遊びを取り巻く環境は大きく変化し、子どもたちは屋内で、少人数で遊ぶことが多くなっています。そんな中、子どもたちが体験や活動を通じて社会性を身に付けられる、地域交流の場を設ける活動を続けている3つの団体を紹介します。ぜひ皆さんも参加してみませんか。

問い合わせ 児童青少年課 ☎(484)6190



競技を通して子どもたちの交流を図り、仲間の大切さを学びます。(青少年相談員)



農作業を体験して食の大切さを学びます (青少年育成市民会議)



子どもが主体的に活動を担えるよう、ジュニアリーダーを養成します (子ども会)

ピックアップ



佐倉市で初めて

病児保育が始まりました

5月22日から、病児保育がみやけクリニック(西志津)でスタートしました。病児保育では、病気のお子さん(当面の症状の急変が認められない場合)を専用の

施設でお預かりします。問い合わせ みやけクリニック「イーゲル」☎080(3484)1958 子育て支援課 ☎(484)6245

対象 市内在住または、市内保育園・幼稚園・小学校などに在籍する1歳以上のかた
保育時間 月～金 午前8時～午後6時 土 午前8時～午後1時 ※料金など詳細はお問い合わせください

青少年相談員連絡協議会

どんな団体?

昭和38年につくられた青少年健全育成のボランティア団体で、20歳から55歳の相談員で構成されています。相談員というカウンセラーのように聞こえますが、中学生くらいの子どものもつ世代の「お父さんやお母さんたち」です。

佐倉市内には、市内23小学校区ごとに4名程度の青少年相談員がいて、合計87名の青少年相談員が子どもたちとともに行動し、地域の中で青少年健全育成活動の指導者として活動しています。

活動ピックアップ!

今年のソフトドッジボール交流大会は、全42チームが6ブロックに分かれ、優勝目指して熱戦を繰り広げました。普通のドッジボールと違い、相手に教えず王様を決め、王様が当たってしまうと負けというルールです。優勢でも最後に逆転することもあり、最後まで目の離せない戦いでした。

他にこんな活動も

各地区ではキャンプやたこ作り講習会の開催、ゴミゼロ運動や地域のお祭りのお手伝いを、全体の交流では、たこあげ大会、綱引き大会を行っています。



佐倉市子ども会育成連盟

どんな団体?

子ども会は、地域の中で異なる年齢の子どもたちがさまざまな活動を行うことにより、子どもの社会的成長を促そうとする団体です。

活動ピックアップ!

ジュニアリーダー初級認定講習会では、子どもたちが大人とともに行事の計画や準備などを行い、自分たちの力で運営するといった「子どもの手による子ども会活動」を行うため、その「推進役」としてのジュニアリーダーを養成しています。

講習会を終えると人前では話せなかった子が、大きな声でみんなに説明するといった、目に見える成長もあります。

他にこんな活動も

子ども会中央交流フェスティバルや、ゲーム講習会、クリスマス講習会など、楽しい催しがたくさんあります。



青少年育成市民会議

どんな団体?

市内7地区の青少年健全育成住民会議と、青少年育成活動を行っている13の団体から構成され、家庭や学校、地域がそれぞれの立場で協働して青少年の健全育成を推進していくこととする団体です。

活動ピックアップ!

畑の学校では6月～11月にかけて落花生、さつまいも、じゃがいもなどの種まきから収穫までを行い、自然を大切にする気持ちや食の大切さを学びます。

また、さまざまな友だちと一緒に農作業をすることで、仕事の役割分担なども自然に学ぶことができます。

他にこんな活動も

防犯パトロールや、各地域の交流事業、軽スポーツ大会などを行っています。

